

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	健康診査事業	会計	一般会計	事業No.	238	施策順No.	31-001
		事業種別	政策・重点	予算科目	4-1-3-11-5		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	保健課		
施策	31 心と体の健康づくり			事業期間	開始	S28	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	職場等で受診の機会のない市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	意図	がん検診を受け、疾病を早期に見出し治療につなげる						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	各種健康診査受診数 人	18,837人	16,171人	18,890人	18,000人	18,472人	18,000人	C
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	21年度と比較し受診者数は若干減少したが、成人保健システムを導入したことにより、23年度に向けて検診申込者の拡大につながった。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>がん検診受診率向上のための普及啓発、受診しやすい環境づくりや日程の設定を行う。          がんを早期に見出し治療につなげるために、がん検診(胃、大腸、乳房、子宮、肺)を実施する。          胃検診と大腸検診はセットで、各地区公民館、保健センター、検診機関で実施する。          子宮がん検診は、飯田医師会に委託し、医療機関で個別受診、隔年で実施する。          乳がん検診は、各地区公民館、保健センターで、マンモグラフィ検診は、各地区公民館、保健センター、検診機関において隔年で実施する。          肺がん検診(ヘリカルCT)は、各地区公民館、保健センター、検診機関において隔年で実施する。          隔年実施の検診は、市内の地区を2分して交互に実施する。          後期高齢者健康診査は、飯田医師会に委託し、医療機関で個別検診で実施する。</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<p>1 がん検診(胃、大腸、乳房、子宮、肺)の実施          胃・大腸検診は40歳以上、乳がん検診は39歳以下・75歳以上          マンモグラフィ検診は40～74歳、子宮がん検診は20歳以上          肺がん(ヘリカルCT)検診は40～64歳の方を対象に実施          2 女性特有がん検診推進事業の実施          対象者全員に無料クーポン券と検診手帳を配布          子宮がん施設検診、マンモグラフィ検診の実施          3 成人保健業務システムを導入し、がん検診申し込み登録、通知作成を行った          4 後期高齢者健康診査は、生活習慣病による治療を受けていない方を対象に実施</p>	<p>1 胃がん検診受診者数(率)          2 大腸がん検診受診者数(率)          3 女性特有のがん検診受診者数・率          4 後期高齢者健康診査受診者数</p>	<p>1 2,545人          2 4,223人          3 子宮がんクーポン対象者2,978人          受診者940人(31.6%)          乳がんクーポン対象者3,335人          受診者1,345人(40.3%)          4 71人</p>
23年度実施計画	<p>1 がん検診について、広報いいだ、ホームページ、各地区学習会などで、普及・啓発を行う。          2 成人保健業務システムを活用し、検診対象者の把握、検診申込者、受診者の管理を行う。          3 がん検診(胃、大腸、乳房、子宮、肺)の実施。          胃・大腸検診は35歳以上、乳がん検診は20～39歳以下、マンモグラフィ検診は40歳以上の偶数年齢、子宮がん検診は20歳以上の偶数年齢、肺がん(ヘリカルCT)検診は40～64歳の偶数年齢の方を対象に実施。          隔年実施の検診対象者を地区割りから年齢変更する。          4 がん検診推進事業の実施。          対象者全員に無料クーポン券と検診手帳を配布、子宮がん施設検診、マンモグラフィ検診、大腸がん検診の実施          5 後期高齢者健康診査は、生活習慣病による治療を受けていない方を対象に実施。</p>	<p>1 胃がん検診受診者数(率)          2 大腸がん検診受診者数(率)          3 子宮がん検診受診者数(率)          4 マンモグラフィ検診受診者数(率)</p>	

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金	12,337	8,405	11,834	
	起債	6	32	42		(国)女性特有のがん検診推進事業補助金(1/2) 8,405千円(精算額8,048千円、差額357千円はH23年度に返還) (県)健康増進事業補助金(2/3) 32千円 (そ)諸収入(がん検診実費負担金 10,632千円、後期高齢者健康診査事業費補助金 470千円)
	その他	15,665	11,102	15,551		
	一般財源	57,263	44,623	53,383		
	計(A)	85,271	64,162	80,810		
	正規職員所要時間		2,100			
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)		7,510			
	トータルコスト A+B		71,672			

4 事業に対する市民や議会の意見

65歳以上の市民から、65歳以上の市民にもヘリカルCT検査受診してもらいたい、との要望がある。(ヘリカルCTは40歳から64歳を対象であり、65歳以上はレントゲン間接撮影のため)

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠、特殊要因)	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民が心身ともに健康を保つ	施策の成果指標又はムツ指標	心身ともに健康であると感じている市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	従来の組合閲覧方式から、成人保健システムを導入し各世帯に個人通知し検診申し込みを受け付ける方法に変更したことにより、申込者数が、H22年13,096人からH23年35,640人に増加した。		
	後期に向けた課題	申込者の維持と、受診率アップにむけた取り組み。		65歳未満の生活習慣病による死亡率
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	システムの導入により対象者への受診勧奨と、受診状況の把握をした。		
	後期に向けた課題	システムを活用し、未受診者の把握と受診勧奨を行う。 システムを各地区へ設置する。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	各地区で行った検診通知作成を、保健センターで一括で行うことにより、人件費の削減になった。		
	後期に向けた課題	検診申込書郵送時のバーコード導入することにより、郵送費の削減。 各種がん検診通知郵送時のバーコード導入の検討。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	検診委託料の3/1程度の金額を自己負担してもらっている。		
	後期に向けた課題	現状で継続。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してみましたか	4年間の振り返り	①住民が主体、まちづくり委員会の協力により、回収率アップにつなげる。 ②がん検診の重要性や事業内容を説明することで、受診勧奨をする。		
	後期に向けた課題	行政主導でなく、市民自らが健康づくりに取り組めるような働きかけを行っていく。		
全体を通じて	4年間の振り返り	システム導入により、事務作業が正確で効率よくできるようになった。また対象者の確実な把握ができるようになり、効率よい受診勧奨ができるようになった。		
	後期に向けた課題	待ち時間を少なくし、受診環境を整え、受診しやすい環境整備を行う。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	----------------------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	----------------------------------------------